

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	一般廃棄物運搬・処分業務委託事業	所管	環境クリーン部 廃棄物対策課
			TEL 2998-9146

事業の目的 (何の為に 行うか)	埋立てを必要とする焼却灰等の廃棄物が生活環境に悪影響を及ぼさないように適正処理を行う。また、埋立量を減らすために資源化を進める。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	中間処理後に排出される焼却灰等の廃棄物	対象とした数	8,536	t
		実際に 利用した数	8,536	t

活動の内容	(何を したか)	平成16年度に北野一般廃棄物最終処分場の埋立てが終了し、現在市内には埋立てのできる最終処分場がないため、排出される焼却灰等の廃棄物は市内で処分することができない。そこで、県営最終処分場及び民間最終処分場で埋立処分を行った。また、熔融スラグや熔融飛灰は資源化処理を行った。								
活動実績	項目名	廃棄物の総処理量	17,785	項目名	廃棄物の最終処分量	8,536	項目名		単位	t
		単位	t			単位	t			t

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	567,096	502,975	507,954	1,498.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	廃棄物の最終処分率(埋立て率)	廃棄物の最終処分量/総ごみ量	4	6.7	59.7
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止		
	予算	現状どおり * 増額		減額 終了		

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	総合 評価	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
		拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 [ ]	終了
	予算	現状どおり 増額		減額 終了		

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課 課	部課コード	050400	TEL	2998-9146
事業コード	一般廃棄物運搬・処分業務委託事業					
050409						
開始年度		昭和 57 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所次市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
	関連・類似事業	水銀含有物等処理委託事業(廃棄物対策課)						
総計計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	2 適正処理の拡充	小柱	(1)ごみ処理施設・資源化施設の適正な運営管理

③事業の内容	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ			
	コード		コード	
事業開始の背景	廃棄物を適正に処理し生活環境の保全を図るため、クリーンセンターの中間処理後の不燃残渣や焼却灰等は埋立処分をする必要があるが、市内の最終処分場確保が困難であったことから、昭和57年度から市外の最終処分場へ搬出し埋立処分を開始した。			

④前年評価と改善点	目的(何のために行か、具体的に)						
	埋立てを必要とする焼却灰等の廃棄物が生活環境に悪影響を及ぼさないように適正処理を行う。また、埋立量を減らすために資源化を進める。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	中間処理後に排出される焼却灰等の廃棄物			中間処理後に排出される焼却灰等の廃棄物を埋立てした量			
対象数	単位	平成 18 年度	10,861	t	平成 19 年度	8,536	t
		平成 19 年度	8,536	t	平成 19 年度	8,536	t
事業の具体的な内容及び実施方法							
平成16年度に北野一般廃棄物最終処分場の埋立てが終了し、現在市内には埋立てのできる最終処分場がないため、排出される焼却灰等の廃棄物は市内で処分することができない。そこで、県営最終処分場及び民間最終処分場で埋立処分を行った。また、溶融スラグや溶融飛灰は資源化処理を行った。							

⑤経費	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
東部クリーンセンターから排出される溶融飛灰については、これまで民間の最終処分場で埋立処分してきたが、平成19年度から埋立処分をせずに資源化処理を行った。						

《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
当初予算		526,562	567,096	556,485
決 算 (見込み含む)		523,115	502,975	
(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
正規職員人件費	0.57 人	5,244	0.53 人	4,979
公債費				
事業費合計		528,359	507,954	
財源内訳	一般財源	509,532	490,366	538,145
	国・県支出金			
	受益者負担金	18,145	16,903	17,647
	市債			
その他	682	685	693	
市民一人当たり(単位:円)		1,563.7	1,498.1	
利用数一単位あたり(単位:円)		48,647.4	59,507.2	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	廃棄物の総処理量	焼却灰、不燃残渣、廃棄物等の引渡 量	t	19,644	17,785	18,000	
	活動実績	廃棄物の最終処分量	最終処分した廃棄物の引渡 量	t	10,861	8,536	8,500	
成果分析	廃棄物の最終処分率(埋立て率)	廃棄物の最終処分量/総ごみ量	目標値	4	4	4		
			実績	8.2	6.7		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			達成率	48.8	59.7	2		

⑦一次評価	評価項目	現 状 評 価	評価項目	現 状 評 価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		委託業者	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性	
明らかとなった課題	一般廃棄物の埋立処分量を減らすために、市民に対しごみの減量に関する啓発を行い、また、資源となりうるものの分別収集を徹底することで、できる限り資源として活用することが大切である。また、安定的に資源化処理できるよう処理先について検討する必要がある。				
平成20年度における目標設定	埋立処分を行っている一般廃棄物の新たな資源化策を検討する。	達成水準(どこまで)	より効率的な資源化を進め、埋立率の減少を図る。	時期(いつまで)	平成20年度末
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	市民へのごみ減量に関する啓発を継続して行うことにより廃棄物の発生抑制を促し、また、家庭ごみの分別収集と排出された廃棄物の細かい細かな選別等を行うことが廃棄物の埋立処分量を減らしていくことにつながる。適正に処分し、環境保全に努めるとともに、財政面にも配慮し実施していく。				
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	廃棄物対策課長 高橋巳喜次		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価	評価理由	評価日						
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
評価日								

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	323		
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2-3廃棄物の適正処理			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
基本目標							
主要課題							
施策の方向							